

温泉熱を有効活用、 住友金属鉱山(株)菱刈鉱山に小型バイナリー発電設備を納入

総合機械商社の第一実業株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：宇野一郎、以下「当社」）は、住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：野崎 明）の菱刈鉱山構内に小型バイナリー発電設備（Thermapower 125XLT および付帯設備）一式を納入し、2021年2月に稼働が開始されました。

菱刈鉱山では、坑内で湧出する温泉水の3分の1は第三セクターを通じて地元の温泉旅館など受湯家に供給しております。現在、菱刈鉱山で進めている下部鉱体開発に伴う湧出場所変更により温泉水温度が上昇することから、従来の温度で受湯家へ供給するためには温泉水の温度を冷却する必要がありました。同社は、回収した温泉熱を有効利用できる当社製のバイナリー発電設備に着目し、導入するに至りました。

菱刈鉱山においては温泉熱を有効利用することにより約57万kwh/年、坑内使用電力量の約2%に相当する発電が可能となります。

住友金属鉱山株式会社は本設備の導入に当たり、当社を介して三井住友ファイナンス&リース株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：橘 正喜）とリース契約を行い、三井住友ファイナンス&リース社ご協力のもと、環境省および同省執行団体である公益財団法人日本環境協会が公募した「令和3年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」を取得しております。

当社は、今後も国内各地域における地熱、温泉熱等の資源を最大限に活用するための取り組みを強化し、再生可能エネルギー事業を通じて二酸化炭素排出量削減の一翼を担うことができるよう努めてまいります。

【ご参考】

住友金属鉱山株式会社様 コーポレートサイト

「菱刈鉱山におけるバイナリー発電設備導入について」

<https://www.smm.co.jp/news/release/2021/03/post-1801.html>

2021年3月10日

【納入した小型バイナリー発電設備の外観】



【お問い合わせ先】

第一実業株式会社

プラント・エネルギー事業本部 エネルギー開発部

TEL : 03-6370-8630

経営企画室 IR・広報部

TEL : 03-6370-8691